

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 21 号 (2020 年 5 月 15 日発行)

新型コロナウイルス感染症の流行により、国内のみならず世界でも 7 月中までのほぼすべてのオリエンテーリングイベントが中止または延期となっています。

今回は JOA 三役から、そのような状況下から考えるオリエンテーリングについてメッセージをお届けいたします。

●本号の内容

- ・会員・登録者の皆様へ
- ・SPORT IS LIFE
- ・立ち止まって考える～オリエンテーリングの楽しみ
- ・オフィシャルパートナー紹介 (かなめ測量 高島様)
- ・村越顧問からのメッセージ
- ・『オリエンテーリング』の社会認知向上を図りましょう
- ・今後の公認大会・講習会のお知らせ
- ・主な世界大会の開催状況

●会員・登録者の皆様へ (顧問：村越)

緊急事態宣言が発令されて 1 か月が経ちました。オリエンテーリング愛好者の皆さんも、野山を走りたくてうずうずしているのではないのでしょうか。感染拡大防止は全人類にとっての最重要課題であり、私たち一人ひとりもそれに貢献することが求められています。一方で、根拠のない不安に基づく行動や他者へのバッシングも、社会機能維持の観点からも別のリスクを生み出します。

アウトドア環境保護基金では、今野外に出る人が心がけたい 5 つのガイドラインを提案しています。信頼と良識のあるバランスのよい提言となっています。

- ①まわりの人々の健康と安全を脅かさないこと
- ②戸外に出るときは他者との安全な距離を保つこと
- ③家の近くにある自然を楽しもう
- ④ケガや病気をしないように慎重に行動しよう
- ⑤休業、休園、閉鎖、中止をリスペクトしよう

(URL: <https://outdoorconservation.jp/news/1561>)

また、IOF より、IOC が傘下の国際スポーツ連盟に対して回覧した WHO の「大規模スポーツ計画時の考慮点」の資料は、以下の URL にあります。国内イベントとは異なる文脈も多いですが、具体的な記述もあり、参考になります。

(URL:

https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/331764/WHO-2019-nCoV-Mass_Gatherings_Sports-2020.1-eng.pdf)

●SPORT IS LIFE (会長：山西)

厳冬の大地が和らぎ、草の芽が顔を出し花が咲く。太陽光は次第に明るさ、吹く風は暖かさを増し、春から夏へと移るとき、世界は新型コロナウイルス感染症に包まれてしまいました。その時から、人々は日々に過ごすべきかを考えざるをえなくなりました。そこで、私にはマーク・ローランズの一文が浮かんできました。

「人生は流動的である。ある瞬間的には理解するが、次の瞬間には消えてしまう。それでも、これらの瞬間は人生で一番大切な瞬間である」

ここでは、スポーツの一つとしてのオリエンテーリングについて語ってみましょう。

新型コロナウイルス感染拡大のなかで、スポーツ界も大きな影響を受け、東京オリンピック、パラリンピックの延期に始まり、我々は今年度の大会をはじめ、来年度の関西 WMG の見通しまでも不安になるほどです。

しかし、長い人生においては瞬間のことかもしれません。だからこそ、現在の事態はローランズの「一番大切な瞬間」として考えてみたいと思います。

スポーツ・ライフ。ライフとは英語では LIFE であり、それは「生命」「生活」「人生」の意味です。スポーツは古代ギリシャ当時から、身体と精神によって「自由」「民主主義」「平和」「コミュニティ」の思想を持って創られた「生命」の運動文化です。我らのオリエンテーリングも 19 世紀後半に北欧で創られ、世界の人たちを楽しまれ、愛されて今日に至っているのです。

憲法第 25 条「すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」の条文で、スポーツ文化は権利として保障されています。

そこで、近年、みんなのスポーツと名付け、0 歳から 100 歳まで誰しもスポーツに親しむことができるとして、かつてスポーツ弱者と言われた高齢者、女性、障がい者まで、年齢や体力を超えて実践されています。しかし、我が国のスポーツ人口は、スポーツ庁の調査によれば、週 1 回の運動スポーツはやっと 50% のレベルと欧米に比べればかなり低いレベルです。

さて、新型コロナウイルス感染予防の対応のために、スポーツの大会も延期や中止となり、その状況は今後も続くと考えられます。しかし、人々は、わずかの時間に、場所を探し、あるいは部屋で運動を行っています。

むろん、私たちオリエンテーリングは自然のなかの個人種目の愛好者であるだけに、一人で、自然豊かな環境を工夫して、良き光と風に触れての全身運動で、多くの酸素を肺から体全体に送る効果を生かすこともできるでしょう。

しかし、今は、私たち自身のことだけではなく社会のなかの平和と幸福とコミュニティというスポーツの本質に戻り、スポーツパーソンとして貢献することは何かを探し求めていきたいものです。

●立ち止まって考える～オリエンテーリングの楽しみ（副会長：愛場）

オリエンティアの皆様、開催予定の大会が軒並みに中止、延期となり、再開のめども立たず、寂しい思いをされていることかと存じます。また、お仕事や学業などでも、オリエンテーリングどころではない大変な思いをされている方も多々おられるかと思えます。心よりお見舞い申し上げます。

COVID-19 は世界中で大混乱に落とし入れました。世の中が大きく変わる、ヒトがその生き方を変えざるを得ない状況にあるのではないかと感じます。これからどうしてゆけばいいのか、世界中の皆が戸惑っている状況です。

「迷ってわからなくなった時は立ち止まって冷静に考える」のは、オリエンテーリングの鉄則です。ならばこの際、ここで一度立ち止まって、これからのオリエンテーリングのあり方、スポーツ界のあり方をじっくり考えてみるのはいかがでしょうか。

そんなわけで、少しポジティブになれるよう、「オリエンテーリングの楽しさ」についてちょっと考えてみました。ざっと挙げてみると、

地形、植生、雨・風・雪、暑さ寒さ… 自然を楽しむ

勝利、努力、体力、健康、爽快感… 走ることを楽しむ

読図、調査、作図、デザイン、コレクション、レースを振り返る… 地図を楽しむ

イメージ、ルートチョイス、コンパス操作、勇気… ナビゲーション技術を楽しむ

風景、自然、生活、文化、移動手段… 旅を楽しむ

トレイン探し、イベント企画、コース設定、サービス… 大会運営を楽しむ

計測、トラッキング、測量、データ分析… 先端技術を楽しむ

ウェア、靴、コンパス… 道具を楽しむ

地域・国境・世代を超えて、友と語らう・協働する… つながりを楽しむ

などなどいろんな事が思い浮かびました。あらためてオリエンテーリングは楽しみの宝庫だと気づ

かされます。皆さんの感じるオリエンテーリングの楽しさ、価値はどんなところにあるでしょうか。

さて、上には挙げませんでしたが、オリエンテーリングの楽しみにはもう一つの究極の楽しみ、「ミスをする事、迷う事、そしてそれから脱却する事を楽しむ」があります。実はこれこそが、最もオリエンテーリングらしい楽しみかもしれません。そう考えれば、今の混乱にもきっと出口はあるはず。不謹慎な表現ではありますが、いっそのパニックを「楽しんで」みるのも一つの見方かと思えます。

これから世の中の状況がどうなるかはわかりませんが、このお盆休みには、オリエンテーリングの未来を語り合う合宿「山西未来塾」を企画しています。今のこの時期にこそ、大会の参加・運営から少し離れ、普段考えないことをじっくり考えて頂き、皆様のご意見を是非拝聴したく、楽しみにしております。

●オフィシャルパートナー紹介

かなめ測量株式会社 (<https://www.ksok.co.jp/>) 代表取締役 高島和宏様から、会社のご紹介、オフィシャルパートナーとなったきっかけ、オリエンテーリング界への期待についてご寄稿いただきました。

高島様はスキーO 委員としてもご活躍されています。

① 会社/サービスのご紹介

主に官公庁や再生エネルギー開発事業者から委託された測量業務を行っています。従業員5名の小規模事務所のため、ドローンやGNSSといった最新技術・機材を導入して現場作業の究極的な省力化・効率化を目指しているという特徴があります。

特に、ドローンを利用した写真測量では、従来であれば、2名で1週間ほどかかっていた現場作業が、1名で半日程度で完了するなど、作業効率UPと従業員の労働負担軽減に非常に役立っており、依頼者にも測量図面だけでなく、写真というビジュアル的な成果品があることで、大変好評を頂いております。



ドローン写真測量で作成した三次元データ (左)



測量用ドローン (右)

cm精度で飛行することができる測量用ドローンで写真を撮影します。撮影した何百枚もの写真を使用して写真測量解析を行い生成した三次元データを基に、事務所のPC上で計測作業と図化を行っています。

②オフィシャルパートナーになろうと思ったきっかけ

代表取締役である私自身が、大学時代からオリエンテーリングを行っており、オリエンテーリングが普及しにくい点の一つとして、地図作成・トレイン確保の問題があると痛感しております。ドローンやGNSS等の最新測量技術の地図調査への導入や、高齢化に伴う山林の所有者不明問題解消に向けた取り組みなど、当社の行っている事業が貢献できるのではないかと考えており、オフィシャルパートナーとして金銭面のサポートだけでなく、それらの無料相談、ドローン・GNSSを使用したO-MAP調査原図作成費用の90%OFFという特典を展開させていただいております。また、当社のアルバイト・従業員として、オリエンティアの皆さんと一緒に業務を行いたいという人材確保の面もあります。測量業において、「地図が読めて、今いる位置が分かる。」という基本中の基本となる教育研修が不要とな

る人材は、大きなアドバンテージです。

② オフィシャルパートナーとしての期待

大学卒業後は、オリエンテーリングをオリンピック種目にしたいという一心で、活動をおこなっております。現在、個人的にスキーオリエンテーリング種目に力をいれているのも、その一環としてです。ユニバーシアードに採用されるなど、着実にその方向に近づいていると感じておりますので、オリエンテーリングの普及と、よりレベルの高い競技となることを目指して協働させていただけたらと思っております。

JOA オフィシャルパートナーにご興味のある方をぜひご紹介ください。

連絡先：joa@orienteering.or.jp 事務局

●村越顧問からのメッセージ（顧問：村越）

新型コロナウイルスによる外出自粛がスタートして約2ヶ月、緊急事態宣言が出て1ヶ月、アウトドア愛好者の皆様には大変辛い日々をお過ごしのことと思います。この間、大会を延期・中止せざるをえなかった皆様、新入生勧誘活動ができなかった大学クラブの皆様の心労をお察しします。本号にも、多数の国際イベントの中止等のニュースが掲載されています。

このような中で、地域のクラブへの練習機会の提供（もちろんオンラインで）、あるいは遠隔者に向けた研修をささやかながら提供し始めました。遠隔の難しさはあるにしろ、アクティブな活動者がじっくり立ち止まって学ぶ時間ができたのも、イベント中止の思わぬ副産物でした。これまで「(会えるのだから、) そんな(遠隔の) 不便な方法じゃなくてちゃんとやるべき」と潜在的に思って結局できなかったものが、「会えないのだから、やれることをやろう」と考えが変わることによって、むしろ「やれることが増えている！」と感じる時さえあります。

オリエンティアの皆さんにお願いしたい現時点での行動は、冒頭で紹介してあります。今は感染拡大防止に貢献することが一番ですが、同時に長期戦に向けて持続可能な努力を考えることが必要だと専門家会議も指摘しています。この状況だからこそ可能になった活動を生かすことは、鬱屈した状況にささやかな楽しみを与えると同時に、ポストコロナに向けての組織と活動の維持にとっても大事な視点になるでしょう。

JOA としても、様々な制約の中でできる組織の活動や愛好者の支援を考え、実行していく所存です。

●『オリエンテーリング』の社会認知向上を図りましょう（総務委員長：小野）

「最近ではオリエンテーリングという言葉聞いたことがない」という声を聞くことがあります。昭和の時代はだれもが一度、体験したことがあるオリエンテーリングですが、いまは大部分の国民が「それ、なに？」という時世になってしまいました。

そこで、そういう状況を少しでも改善するために、特に各都道府県協会やクラブに以下の3点についてお願いいたします。

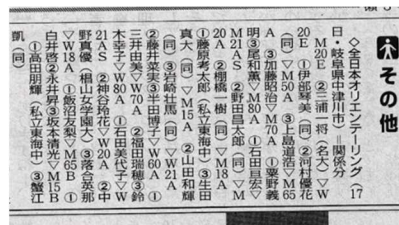
1、大会の結果を地元の新聞の地域版に掲載していただく

どの新聞も、地域向けの紙面を持っていて、そこに地域で行われたスポーツ大会の結果を掲載しています。原稿は新聞記者の取材ではなく、主催者からの投稿によるものです。

是非、都道府県協会やクラブの皆さんは投稿をお願いいたします。多くの読者に新聞を見ながら、自然にオリエンテーリングという文字が目に入ってきます。

2、ねりんピックに参加しよう

ねりんピックは厚生労働省が主催する全国規模の60歳以上の方が参加できるスポーツ大会です。大きなスポーツ大会なので、新聞、テレビなどのマスコミを通じ、広くオリエンテーリングの言葉が広がり、大会の様々な印刷物を通して、他種目の競技者や社会福祉の関係者にも伝わります。



今年は11月1日に岐阜県で開催されます。都道府県からの補助もありますので、是非参加しましょう。(写真は昨年和歌山で開催されたねんりんピック総合開会式の様子：ねんりんピック HP より)

3、様々な団体に加盟しよう

オリエンテーリングはJOAが日本スポーツ協会に加盟しています。また地域の市民活動にも貢献できるスポーツです。各都道府県協会やクラブでは地域のスポーツ協会に加盟することにより、一人前のスポーツとして認めていただくとともに、他スポーツ団体と交流を深め、良いところを吸収することも必要と考えます。また、市民活動組織に加盟し、地域の活動に貢献することにより、オリエンテーリングを広めることをお願いいたします。オリエンテーリング関係者以外の方が、オリエンテーリングのホームページを見に行くことはまず皆無と言っていいと思いますが、スポーツ協会や市民活動のホームページの中にオリエンテーリングを見つけてくれることは期待できると思います。

●今後の公認大会・講習会のお知らせ (状況により変更の可能性あります。)

6月27-28日	ナビゲーション講習・スキル検定(ゴールドレベル)	→ 延期
7月4日	霧ヶ峰ミドル大会	[公認B] (長野県)
7月5日	関東学連スプリントセラ兼上尾 OLC 大会	[公認S] (埼玉県)
7月11-12日	札幌2日間大会	[公認B] (北海道)
8月14-16日	山西未来塾	(新潟県)
8月29-30日	2020年度イベントアドバイザー講習会	(滋賀県)
9月12日	第3回東京理科大学オリエンテーリングクラブ大会	[公認S] (東京都)
9月13日	パークOツアーin 関西 2020 和歌山大会	[公認S] (和歌山県)
9月27日	第25回京都大学京都女子大学立命館大学大会	[公認B] (滋賀県)
10月4-11日	WMG/WMOC2021 関西プレイベント3日間大会	[公認A] (兵庫県)
10月25日	青い森Apple2Days オリエンテーリング大会	[公認B] (青森県)
10月31日	ねんりんピック岐阜2020 前日スプリントO大会	[公認S] (岐阜県)
11月8日	全日本オリエンテーリング大会(リレー)	(鹿児島県)
11月21-22日	第2回イベントアドバイザー講習会	(埼玉県)
11月28-29日	全日本オリエンテーリング大会(ミドル・ロング)	(長野県)
12月6日	全日本オリエンテーリング大会(スプリント)	(東京都)

●主な国際大会の開催状況 (5月14日時点)

5月1-6日	Asian Orienteering Championships 2020	→ 中止
5月4-6日	WMG/WMOC2021 関西プレイベント3日間大会	→10月4、10-11日に延期
6月28-7月3日	Junior World Orienteering Championships 2020	→ 10月に延期予定
7月7-11日	Nokian Tyres World Orienteering Championships (WOC)	→ 2022年に延期
7月14-18日	FISU World University Orienteering Championships 2020	→ 中止
8月7-15日	World Masters O Championships	→ 中止
8月17-23日	World MTB Orienteering Championships 2020(ジュニアも)	→ 中止

以上